

(1 0)

候補地の関係町内会組織への事前事業説明の結果

周辺住民意見交換会の対象となった14町内会等の長へ事前事業説明の希望の有無を確認したところ、吉田区から希望があった。

次期中間処理施設整備事業に関する説明会（吉田区）
要約会議録

開催年月日	平成26年5月10日（土）			
開催時間	19:00～20:45			
開催場所	吉田区構造改善センター			
出席者	住民	25名		
	組合	印西クリーンセンター	工場長	大須賀 利明
			次期施設推進班 主査	浅倉 郁
			次期施設推進班 主査補	中野 竜一
			次期施設推進班 副主査	川砂 智行
印西市	環境経済部クリーン推進課 次期中間処理施設対策室長事務取扱	担当課長	山口 隆	
配布資料	①ごみ処理フロー図 ②これまでの経緯 ③候補地の募集要項 ④候補地の募集結果 ⑤候補地の比較評価項目・基準・配点			

次第	頁
1 開会	10-3
2 吉田区長あいさつ	10-3
3 組合工場長あいさつ	10-4
4 組合職員等の紹介	10-4
5 印西クリーンセンター見学者用DVD上映	10-4
6 これまでの経緯について	10-4
7 候補地の募集及び結果について	10-4
8 次期中間処理施設の整備基本方針等について	10-4
9 質疑応答	10-4
10 閉会	10-10

次第1 開会

川砂副主査が進行

次第2 吉田区長あいさつ

みなさんこんばんは。

本日はお忙しい中お集まりいただき、本当にありがとうございます。

また、印西クリーンセンターの工場長さん以下、お忙しい中、時間を割いていただき誠にありがとうございます。

皆さんは既にご存じのことと思いますが、吉田区の地権者グループの方が、次期クリーンセンターの候補地に応募しました。

当初、6箇所の応募がありましたが、先日、1箇所の辞退があったとのことで、現在5箇所の応募地と、元々候補地となっていた現在地を含めた合計6箇所に対して1次審査及び2次審査が進行中です。

よって、吉田地区にクリーンセンターが来ると決まった訳ではありません。

本日は、その辺の状況も踏まえた説明があると思いますが、次期クリーンセンターのハードウェア及び先進性の説明や、去年から公募の状況を見ていると、地域住民との協調姿勢のもの凄く重要視していることが、様々な資料及びホームページ等から分かるので、その辺の説明もいただけたと思います。

なお、本日、お越しいただいた組合職員とは別に、次期クリーンセンターの用地を検討する委員会が、6月に吉田区との意見交換会を開催する予定です。

その際、一応、吉田の態度を決めておかなければならないので、本日、住民の皆さんに、より多くの情報を提供することで、なるべく理解を深めていただければと思います。

クリーンセンターは地域振興の起爆剤となる大きな可能性を秘めた施設なので、関心の高い方もいらっしゃると思いますが、まだまだ戸惑いを持つ方や、疑問を持つ方がいらっしゃると思います。

出来るだけこうした説明の場で、組合が目指している方向性を理解し、また、質疑応答のやり取りで、もしかすると疑義が晴れるかもしれません。

忌憚のない質疑応答により理解を深めていただいて、代々と続く将来の世代のためにどのように考えたら良いのか、慎重且つ賢明な判断をお願いしたいと思います。

次第3 組合工場長あいさつ

次第4 組合職員等の紹介

工場長が出席者を紹介

次第5 印西クリーンセンター見学者用DVD上映

子供用プログラムを上映（20分間程度）

次第6 これまでの経緯について

浅倉主査が概要説明

次第7 候補地の募集及び結果について

浅倉主査が概要説明

川砂副主査が審査状況を説明

（既に1次・2次審査に着手し、5月25日の用地検討委員会会議で、当該審査を完了させる予定としている旨）

次第8 次期中間処理施設の整備基本方針等について

浅倉主査が概要説明

次第9 質疑応答

【要約】

質問等1

上下水道はどのように考えているのか？（地元対策ではなく、施設側の計画として）

回答1

- ①現施設は排水を場内処理（クローズドシステム）しており、外に排出していません。
- ②次期施設をクローズドシステムとするかどうかは、これからの検討となりますが、下水道処理する場合は、関係法令に基づく基準をクリアした排水を流すこととなります。
- ③吉田区の直近では、松崎工業団地に印西市の下水道管及び水道管が敷設されているので、そこから配管を延長することになります。
- ④調整池から排出する雨水は、河川に放流することとなります。

質問等 2

取付道路の整備ルートは？

回答 2

取付道路は地元の皆様のご意向もあると思うので、今後の協議で決定する流れになりますが、現時点で想定しているルートは、印西市事業の松崎吉田線から分岐する形で候補地に向かうルートです。

質問等 3

本計画における地域活性化・地域振興とは、具体的にどのようなものか？

回答 3

- ①どのような地域特性や地域事情があるのか分からない状況で、候補地を広く募集することから、募集に先立ち具体的な地域振興事業を決めることは出来ませんので、今後、周辺住民の皆様との対話や協議の中で、具体的な事業展開の検討を進めたい考えです。
- ②現施設では余熱利用施設としての温水センターや、地域冷暖房事業者への蒸気供給を行っています。
- ③地域振興事業の具体的な他事例として、現施設の温水センターのように、幅広い方々が利用出来る健康増進施設、農作物のハウス栽培・直売などの地域経済振興施設整備（雇用創出含む）、研修室・調理場・音楽室等が併設された地域コミュニティ施設整備、大規模災害時の防災拠点整備（避難施設）、地球温暖化やリサイクル等の環境教育・環境学習の場を整備、道路・上下水道・公園・排水路等の地域実情に応じた社会資本整備、防犯灯や防犯カメラ設置による地域の生活安全性の向上、信号・ガードレール等の設置による交通安全性の向上などが挙げられます。
- ④地域振興事業に関するアイデアがあれば、今後の意見交換会等で是非意見をいただきたい。

質問等 4

地域振興事業に関する予算はどの程度か？

現在地で整備しようとしていた平成20年度に当該予算は決まっているのではないかと？

回答 4

- ①現在地での整備計画は、既に温水センターを運営していることから、新たな地域振興事業は計画していませんでした。
- ②9住区での整備用地は、既設の温水センターに近いことから継続運営が可能と考えておりましたので、引き続き同様の地域還元が可能でした。しかし、短距離とはいえ整備用地の位置が変わることから、計画を進めるにあたり新たな地域要望等があるものと認識していましたが、当該要望の協議等を行う前に計画の白紙撤回という運びとなり、地域振興事業に関する予算は位置付けられておりません。
- ③候補地の公募を行った現計画についても、現時点において地域振興事業に関する予算は明確になっていませんが、関係市町と協議のうえ、なるべく早い段階で明らかにしたいと考えています。

質問等 5

焼却炉の形式等も決まっていないということか？

回答 5

計画を進めるにあたり、住民の皆様の健康を第一と考えており、候補地が決定した後、有識者のほか、地域住民や地区住民を交えた検討委員会で施設整備基本計画をまとめ、焼却炉の形式等を決定する構想です。

質問等 6

それは良いことだ。今迄は一方的に決められてしまったが、住民の意見を取り入れて進めることは賛成である。なお、炉メーカーによる住民参加型のプレゼンを考えたほうが良いと思う。

回答 6

住民参加型の取り組みは非常に大事になるので、そういったアイデアもいただきながら、計画を進めたいと考えています。

質問等 7

処理施設は炉メーカーが少ないこともあり、きな臭いにおいを感じる。

回答 7

清掃工場は特殊性のあるプラントなので、維持管理は設置メーカーと付き合うケースが多く、はたから見ると癒着しているのではという印象を持つ方もいらっしゃると思いますが、決してそういうことではなく、特許等の関係から、どうしても他のメーカーが入り難いという実情もあるようです。

いずれにしても、情報公開と住民参加は徹底したいと考えています。

(それは良いことだと発言する者あり)

質問等 8

次期中間処理施設は何人で操業するのか？

回答 8

現代の焼却施設はコンピューターで集中制御していることから、数名程度の運転員で操業が可能です。ただし、施設整備基本計画の内容如何で変わる部分がありますが、プラントホームでの誘導や手選別ラインは、別途、相当数の職員が必要になります。

質問等 9

現施設における1日当たりの収集車の搬入数は？

回答 9

① 1日平均で120台程度です。

② 9時から16時が搬入時間で、120台が一気に搬入するわけではないので、渋滞の心配はありません。

質問等 10

現施設における1日当たりの焼却量は？

回答 10

1日平均で120トン程度です。

質問等 1 1

資料の 6 ページでは、現施設は 1 日 3 0 0 トン焼却していると記載されているが？

回答 1 1

6 ページの 3 0 0 トン／日は、現施設の最大能力です。

質問等 1 2

次期施設の 1 5 6 トン／日も最大能力か？

回答 1 2

そちらも最大能力です。

質問等 1 3

最大能力の算出にあたり、人口の伸びを勘案しているのか？

回答 1 3

- ①平成 2 5 年度に、ごみ処理基本計画検討委員会が推計した平成 4 0 年度の将来人口を基礎としていますので、人口の伸びを勘案しています。
- ②現施設は、計画した当時の将来推計人口及び 1 人当たりの排出ごみ量が多かったことから、最大能力 3 0 0 トン／日となっています。
- ③次期施設の焼却施設規模は、現時点で 1 5 6 トン／日となっていますが、今後、更なる減量化を進め、よりコンパクトな施設整備を図りたいと考えています。

質問等 1 4

用地を決定してから稼働するまで、どの程度の期間を要するのか？

回答 1 4

最短では 7 年間程度（アセス等 4 年、建設工事 3 年）ですが、地元の皆様にご理解をいただく期間も必要になることから、一般的には稼働開始までに 1 0 年程度の期間を要します。

質問等 1 5

清掃工場を整備する具体的なメリットがあれば、区として同意し易いと思う。

回答 1 5

先程説明したような先進地事例が考えられますが、具体的には今後、皆様とアイデアを話し合いながら、より良い事業展開を考えていきたいと考えています。

質問等 1 6

近年に稼働開始した成田の清掃工場における地域振興事業はどのようなものか？

回答 1 6

- ①成田市では、地元との協定により、清掃工場の隣の敷地に屋内プールと温浴施設を整備することになっています。
- ②先日、成田市の担当者が、印西クリーンセンター隣の温水センターへ視察にいらっしやいました。

質問等 1 7

組合から説明のあった防災拠点の観点からも、駐車場は広く確保したほうが良い。行政の駐車場計画は総じて狭い。

回答 17

印西の温水センターも駐車場が狭く、本当に苦慮しています。
貴重なご意見ありがとうございます。

質問等 18

吉田地区の住民理解度の関係で、松崎地区も対象に入るような話があったが、どういうことか？

回答 18

- ①用地検討委員会の会議で決するところにより、候補地の敷地境界から概ね300mの範囲内の町内会・自治会等に居住する住民を周辺住民と定義し、意見交換会の対象としています。
- ②吉田区のほか、対象となるのは「松崎3町内会」となります。
- ③地元町内会である「吉田区」と、周辺町内会である「松崎3町内会」のご意向をどういった重み付けで評価するかは、今後、検討委員会で審議します。

質問等 19

前回計画の住民説明会を11回開催したようだが、賛成は得られたのか？

回答 19

- ①中央駅北地区町内会自治会連合会から反対を趣旨とした要望書（署名：3,545名）が管理者へ提出され、周辺住民から大反対されました。
- ②平成24年度に、前回計画に反対の立場の板倉新印西市長から組合へ白紙撤回の申し入れ書が提出されました。

質問等 20

9住区とテニスコートは同じ場所か？

回答 20

9住区は、カインズホームの隣接地で、テニスコートは現施設の隣接地です。

質問等 21

思い切って煙突の無い施設を造ってみるとか、全国から注目されるような整備も面白いと思う。

回答 21

現時点において、燃焼が伴うごみ処理技術では無煙突化は難しいですが、技術は日進月歩ですので、そういったことも含めて、施設整備基本計画を地域の皆さんと一緒に考えていきたいので、その際に色々なご要望やご意見をいただければと思います。

質問等 22

候補地の面積は、温水センター等の施設用地も含んでいるのか？

回答 22

募集をした2.5ha程度の用地は、中間処理施設を整備する用地と、将来的な建替え用地で構成されているので、地域振興事業を行うにあたり、新たな用地が必要となる可能性があります。

質問等 2 3

比較評価すれば、現在地が有利になってしまうのでは？

回答 2 3

①検討委員会で現在地を候補地の1つに加えた理由は、既に建替用地を保有していること及び比較評価の物差しになることです。

②比較評価項目・基準・配点は、特定の用地を睨んで設定したものではありません。

質問等 2 4

最終的には、現在地になってしまうような気がする。

回答 2 4

現在、1次及び2次審査中ですが、現時点の評点では、1位が滝、同点2位が岩戸・武西①・吉田、5位が現在地、6位が武西②です。

質問等 2 5

説明が不十分ではないかと思う点がある。

3次審査のNo.14の周辺住民の理解度・協力度とNo.16の地域活性化は合わせて70点の配点となっており、200点満点中の70点は、地元の考え方如何で評点が左右することに皆さん留意されたい。

回答 2 5

1点付け加えさせていただきますが、先程ご説明したように今後開催する意見交換会で地域活性化に関するアイデアがあれば是非お聞かせいただいて、区長さんから説明のあったように評価に結びつけていきますが、組合としても地域特性に応じた地域活性化への寄与を検討します。

質問等 2 6

全国的に清掃施設の整備は反対運動が起こり、やむを得ないので公募を行うというのが実態である。

よって、誘致した地区が本当に良くなったという、全国に先駆けたモデルケースになるような魅力的な整備をすべきである。

くれぐれも、つまらない理由で事業予算を削るようなことはしないでほしい。

30年操業するのなら、200億円、300億円の予算を使っても年間コストはたかが知れている。

その位の気持ちで事務局職員は頑張ってもらいたい。

回答 2 6

先程、2.5haの土地は将来的な建替用地を含んでいるとご説明しました。

先の話となりますが、次期中間処理施設が稼働開始した後、更に30年程度経ちましたら、再び建替えの時期を迎えます。

その際、地元の皆様に「是非、継続してここで操業してくれ」と仰っていただけるような次期中間処理施設整備計画にしたいと考えています。

質問等 27

次期中間処理施設を建替えるときは、本日の出席者は大体この世にいないので、孫子の代に問題を残すようなものは造ってはいけない。

回答 27

用地検討委員会のある委員も第1回会議での挨拶の際、「中間処理施設整備事業は自分の世代の問題としてではなく、孫子のためにきちんと考えていきたい」と仰っていました。

事務局としても正に同じように考えております。

質問等 28-1

「清掃工場が建設されて吉田は素晴らしくなった」と言われるような計画にしてもらいたい。

質問等 28-2

印西市は住み良い街で日本一だとテレビ放映されていたが、それはニュータウン地区の話であり、在来地区には当てはまらない。

次期中間処理施設整備事業を地域にとって本当に良い事業として展開し、一極集中ではなく人口が分散するようなまちづくりを市でも頑張ってもらいたい。

回答 29

中間処理施設は地域活性化の起爆剤となり得る都市施設ですので、色々な部分で大きな可能性があると考えています。

質問等 30

先程話題に挙がった現在地の可能性だが、印西市議会の中でも、なぜ現在地を加えるのかという疑問の声は出ている。

現在地の地元でも反対運動は起こっており、先程区長から説明のあった採点方法からすると、現在地はまず有り得ないと考えている。

現在地は、実質、物差しとしてだけ存在する用地だと認識している。

次第 10 閉会

～工場長あいさつ～

長時間に亘る説明会となりましたが貴重なご意見や前向きなご意見をたくさん頂戴し、ありがとうございました。

我々が目指している次期中間処理施設は、やはり地元の皆さんと一緒に検討を進め、全国に誇れるような施設にしたいと考えており、また、そうした気概で取り組んでいます。

中間処理施設は迷惑施設ではなく、地域の皆さんの使い方によっては、非常にポテンシャルの高い施設なので、30年に1度のこの機会に、是非とも色々なアイデアを絞り出してください。6月に開催予定の意見交換会でも、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

以上